



令和6年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ

長野高等学校 学校長だより

(「学校長だより」はホームページにも掲載しています。)

令和6年
No. 5
8月28日(水)

新たな気持ちで挑戦

夏休みが終了しました。今年も特に暑い夏でしたが、パリオリンピックや甲子園での熱戦はこの夏の思い出としていまだに記憶に新しいところです。学習合宿やキャンパス訪問、班活動の大会やフィールドワークなど、普段では叶わない経験をし、それぞれの成果を胸に久しぶりに教室に戻ってきて、友達と再会したと思います。これから年末までの4か月がそれぞれにとって意義深いものになるように、じっくりと自分の成長を引き出しながら、その先の飛躍を信じて挑戦していきましょう。



東大セミナーにて 8月1日2日

✂ 応援練習再考

今の時代に応援練習はどうあるべきなんだろうと、2月に応援委員のみなさんとお話ししました。これについて委員会内で十分検討し考え抜いたうえで実施した結果を、夏休み前に応援委員長から報告を受けました。とても誠実にこの問題に粘り強く向き合い、新たな一步を標してくれたと思います。以下、武居応援委員長の振返りを皆さんと共有したいと思います。

『何のための応援練習であったのか、何のための応援練習であるのか、』

先日、応援委員会の活動について校長先生に報告したところ、文章での報告も求められたので、応援委員会が行ったことと私が思ったことについて少し書かせて頂こうと思う。

今年度応援委員会は長い歴史から見ても激動の一年であった。

3月、我々は現2・3年生を対象に意識調査アンケートを行った。結果は約560人中119人の返答をいただいた。内容は厳しいものだった。「伝統に囚われ形骸化している」「非常に不快、やる必要性がわからない」私は頭を抱えた。だが同時に在るべき形の概形を理解できた機会でもあった。「応援練習に檄は本当に必要なのだろうか」「時代に逆行することが伝統ではない」私の中にそんな意識が生まれ始めた。

次に行ったのは諸先生方へのヒアリングだ。過去の応援練習について、他校の応援練習について校長先生を始めお話を伺うことができた。これを通して長野県全体として、応援が厳しいもので在る風潮があり、急激な変革は反発を生むと学んだ。

そこからの1ヶ月は早かった。三役内で協議を交わし、今の時代に受け入れられるような応援練習を模索した。同時に有志で集まってくれた常幹にも手伝ってもらい、練習中の声掛けも変えていった。自分たちの経験にない、励ましの声掛けを追加し、練習の構成にも改変を加えた。正直怯えていた部分もあった。これだけ形を変えたものを周囲は受け入れてくれるだろうかと。だがこのような逡巡は杞憂だった。

応援練習後、新一年生にも感想のアンケートをとった。声を聞けば指導の仕方に理不尽さを感じている生徒は見られなかった。心の底から安堵した反面、他の課題も見えてきた。来年から先の世代に繋いでいきたい。

ここまで書いてきたが、私は特別なことをしたつもりはない。きっとどの世代の委員長たちもこれだけ悩み、考えてきたのではないと思う。

この半年間「応援練習」というものについて考えてきた。なぜ、これが伝統として受け継がれてきたのか、今どう

受け継ぐべきなのか。誠心誠意向き合ってきたつもりだが、確固たる答えを私は見つけることができなかった。しかし、私なりに得たものもある。それは「考え、模索し続けることにこそ真の意義がある」ということだ。多くに悩み、壁に当たっても歩みを止めてはいけない。過去に倣うだけ、それは決して進歩ではない。今を俯瞰し、過去を振り返り、長所を見つけることが第一歩だと思う。

応援だけではない。形だけが残され、意味を見失った伝統は私たちの身の回りに数多葬られているだろう。長野高校においてこれを真に「伝統」としていくのは教師でも先輩でもOBでもない。今を生きる我ら長野高校生なのであると思う。いつか未来の長高生に我々の活動を振り返ってもらえることを願って、私の話は終わりにしようと思う。

❧ 信州つばさプロジェクト（再掲）

前号でお知らせしたこのことについて、詳細が明らかになりました。HR で連絡があると思いますので、関心のある生徒諸君は校内の締め切りに間に合うように準備してください。休み明けで募集期間が短いので注意してください（県への申し込み締め切りは9月13日（金））。それぞれの旅行費用のほぼ半額を県が負担します。プログラムの詳細は

プログラム	人数
① 芸術コース（オーストリア）12月上旬出発 8日程度 40万円程度の自己負担	20名
② グローバル・インターンシップコース（マレーシア）1月中旬出発 7日間 20万円程度の自己負担	20名
③ SDGs 探究コースⅠ（台湾）3月上旬出発 7日間 15万円程度の自己負担	20名
④ SDGs 探究コースⅡ（カンボジア）2月上旬出発 7日間 20万円程度の自己負担	30名
合 計	90名

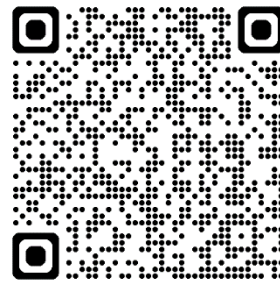
❧ 1年生に留学生が来ます！ 香港から何榮晃（カ・エイコウ）君 12月14日まで本校で学びます。

英語名はジョナサン。将来日本に留学するつもりで中学のころから日本語を学んでいました。

❧ トイレの改修が進んでいます 南側のトイレが使えないために、混雑している状況があります。体育館棟ピロティのトイレや、同窓会館1階のトイレも利用してください。同窓会館には正面玄関ではなく、東側の入り口から入ることができます。校内にはコーンが置いてあったり、廊下が狭くなっている場所がありますが通行には十分注意してください。



○須坂市でセアカゴケグモが確認されました。県内9例目。毒があるので見つけても素手で触らないよう注意。関連HP⇒



- ・校内では金銭の管理をきちんとすること。バッグに残してその場を離れることの無いようにしてください。
- ・必要以上の現金を所持しないこと。学校に持ってきた場合は教員に預けてください。
- ・不審な状況に出会った場合は教員に知らせるほか、無闇に手に取ったりせずできるだけ現状を保存してください。

←「静寂」美術班2年湊澤さんの作品

生徒の皆さんは、この学校長だよりを読んだあと、保護者の方に渡してください